

《学校教育目標》 ○思いやりのある子 ◎自ら学ぶ子 ○たくましい子



校
報

あしっこ

立川市立第九小学校

校長 菊池 修

立川市上砂町2-18-1

TEL042-536-2231

平成31年度 5月

子どもの「よさ」を認めること

校長 菊池 修

新しい環境の中での1か月が経ちました。1年生にとっては小学校という新しい世界に入っ
ての1か月、進級した学年はクラス替えで仲間が変わったり、先生が変わったり、教室が変わつ
たりとどの子にとっても何かしらの環境の変化がありました。緊張感が続いた子もいたと思いま
す。

新学期が始まって1か月、どの学級もしっかりと土台を固める時期です。よく、組織のことが
「チーム」にたとえられます。チームワークという言葉があるように、団結力等の表れとしてこ
ういう言葉が使われるのでしょうか。

「チーム」は様々な「よさ」をもった人が集まっています。スポーツのチームでは、守備がう
まい人、攻撃がうまい人、足が速くて速攻に適している人、仲間に声を掛けるのがうまい人、人
によってその「よさ」は異なりますが、それぞれの「よさ」が活かされてチームが成り立って
いくのです。

このことは、学校や学級でも同じです。人それぞれの「よさ」があります。走るのが得意な人、
ボール投げが得意な人、歌が得意な人、ダンスが得意な人、発言することが得意な人、友達にや
さしい言葉掛けができる人、グループをまとめていくのが得意な人、等まだまだたくさんありま
す。その「よさ」を見付け合い、認め合い、生かす場所があると、一人一人の達成感や成就感に
つながり、さらには存在感が重んじられ、その学校・学級の団結力は強まっていきます。つまり
「チーム」としても、まとまった活気のある「チーム」ということになります。

「あなたのよさは何？」と尋ねると、「ない。」とか「わからない。」と答える児童がいます。
考えるときに、どうしても人と比べたり、集団の中で優れていないと「よさ」ではないと感じて
しまうのかもしれませんが、でも、誰にでもその子の中での「よさ」があります。人と比べる必要
はありません。自分の中で、これが自分の「よさ」だと思えることが大事です。周りの人から、言
ってあげることも大事です。「あなたはこういうところが「よさ」だよ。」と伝えてあげると、
何気なく行っていた自分の「よさ」に気付くことができます。

先日2年生の保護者会で、大山自治会の佐藤良子様をご講演してくださいました。その中で「子
どもは褒めて育てることが大事。」という話がありました。褒めることは「よさ」を認めてあげ
ることでもあります。

ご家庭でも家族の中で、お互いの「よさ」を伝え合ってみてください。お子様にも自分の「よ
さ」を自覚させてあげてください。各学級で、そして学校全体で、お互いの「よさ」を認め合っ
てすばらしい「チーム」ができるようにして行きたいと思えます。